



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東  
 コード番号 4118 URL <https://www.kaneka.co.jp/>  
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一彦  
 問合せ先責任者(役職名)IR(Investors Relations)部長 (氏名)井ノ口 敦也 (TEL)03-5574-8090  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	198,682	0.2	8,161	△20.6	6,038	△40.5	4,261	△39.4
2025年3月期第1四半期	198,382	8.6	10,276	83.4	10,146	52.0	7,033	65.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 4,567百万円(△70.9%) 2025年3月期第1四半期 15,678百万円(△8.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	67.74	67.53
2025年3月期第1四半期	110.38	110.04

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	920,221	491,509	51.1
2025年3月期	920,143	492,419	51.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 469,976百万円 2025年3月期 471,278百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	1.6	42,000	4.9	38,000	15.6	33,000	30.4	524.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	66,000,000株	2025年3月期	66,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	3,314,799株	2025年3月期	3,066,508株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	62,909,810株	2025年3月期1Q	63,726,032株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2025年8月8日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(セグメント情報等の注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

➤ 世界経済の状況 —米国関税政策をめぐり、不確実性が高まる—

当第1四半期(2025年4月～6月、以下1Q)は、米国関税政策をめぐり不確実性が高まり、世界経済は鈍い足取りとなりました。一時的に需要が減退し、米国では企業の投資・生産活動が抑制され、インフレ再燃への警戒感が拭えず、欧州では輸出のサプライチェーンが慎重な動きとなりました。中国の経済回復の動きも依然弱いままです。2Q以降、米国関税をめぐり市場の警戒感は落ち着くとみられますが、世界経済の行方はなお流動的で予断を許さない状況となっています。

➤ 当社グループの業績 —増収減益—

このような状況下、当社グループの1Qの業績は、売上高198,682百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益8,161百万円(前年同期比20.6%減)、経常利益6,038百万円(前年同期比40.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,261百万円(前年同期比39.4%減)となりました。

売上高は円高が進むなか前年同期比で増収を確保しましたが、営業利益・経常利益・四半期純利益は減益となりました。

2026年3月期 第1四半期 連結業績 (単位:百万円)

	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減
売上高	198,382	198,682	300 (0.2%)
営業利益	10,276	8,161	△2,115 (△20.6%)
経常利益	10,146	6,038	△4,107 (△40.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,033	4,261	△2,772 (△39.4%)

セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減	2025年3月期 1Q	2026年3月期 1Q	増減
Material SU	86,042	82,374	△3,668 (△4.3%)	8,382	6,265	△2,116 (△25.2%)
Quality of Life SU	45,058	48,466	3,407 (7.6%)	4,256	5,208	952 (22.4%)
Health Care SU	18,372	18,273	△99 (△0.5%)	2,992	3,131	139 (4.7%)
Nutrition SU	48,674	49,310	636 (1.3%)	3,903	2,680	△1,223 (△31.3%)
その他	234	257	23 (9.8%)	111	128	17 (15.4%)
調整額	-	-	-	△9,369	△9,254	115 (-)
計	198,382	198,682	300 (0.2%)	10,276	8,161	△2,115 (△20.6%)

各セグメントの状況は次のとおりです。

### ① Material Solutions Unit

当ユニットは、アジア市況の低迷が継続しています。MOD・MSは先行き不透明感から一時的に欧米の住宅・建築市場の需要が停滞しました。全体では減収減益となりました。

- Vinylsは、塩ビ・か性ソーダともにアジア市況の低迷が続き、減益となりました。
- MODは、アジアの販売は堅調に推移しましたが、欧米の住宅・建築市場の需要が一時的に調整局面となり、収益は前年を下回りました。MXは販売を着実に拡大させています。
- MSは、米国・欧州が同じく一時的な調整局面となりました。欧州顧客は一部で米国向け輸出の様子見も生じました。
- Green Planet®は、大型用途で顧客での品質評価が加速しています。下期以降は販売が大幅に増加する見通しです。世界の大手ブランドホルダーのGreen Planet®の関心が高まっています。

### ② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、Fiberの販売増により、全体では増収増益となりました。

- Foamは、自動車分野は前年を上回る販売となりましたが、農水産・建築分野での需要低迷の影響を受けました。価格改定・コストダウンなどスプレッドの改善が進んでいます。
- E&Iは、中国でのスマートフォンの需要が好調。ポリイミドフィルムが販売増となりました。大型液晶TVの生産調整に伴い、アクリル樹脂の販売が減少しました。
- PVは、国内戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調。次世代太陽電池（ペロブスカイト）については、タンデム型での技術開発を先行して進めています。
- Fiberは、頭髮製品の販売が好調。大幅な増益となりました。難燃ファブリック分野の需要も拡大。頭髮製品の販売地域が拡大し、新製品による需要の創出が進んでいます。

### ③ Health Care Solutions Unit

当ユニットは、Medicalが大幅な収益増。PharmaはCDMO市場の需要調整が続いています。全体では減収増益となりました。

- Medicalは、血液浄化器・カテーテルともに販売が拡大。大幅な増益となりました。カテーテル新製品の拡販が、収益拡大を牽引しています。血液浄化器の北海道新プラント（苫東工場）は順調に戦力化。海外向けの拡販に寄与しています。
- Pharmaは、前年4Qでの販売集中の影響もあり、当1Qは販売減となりました。開発・製造基盤の強化により、低分子・バイオ医薬品の新規案件の獲得が進んでいます。

### ④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、Foodsが原料高騰の影響を受けました。Supplementにおける還元型Q10の販売が堅調でしたが、全体では増収減益となりました。

- Supplementは、米国を中心に還元型Q10の販売が堅調。乳酸菌は中南米向けを中心に事業が拡大しています。
- Foodsは、油脂原料価格の高騰に伴い減益となりました。2Qからは高付加価値品へのシフトが進み、スプレッドが改善していきます。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

1Q末の総資産は、株式売却による投資有価証券の減少などの一方、棚卸資産、有形固定資産の増加などにより、前期末に対して77百万円増加の920,221百万円となりました。

負債については、借入金の増加などにより987百万円増加の428,711百万円となりました。

純資産については、配当支払いおよび自己株式の増加などにより909百万円減少の491,509百万円となり、自己資本比率は51.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

1Qの世界経済は、米国関税政策の動きを睨み、各マーケットで様子見の姿勢が強まりました。2Q以降、関税問題への警戒感は緩和に向かうと想定されますが、景気の先行きは予断を許さない状況です。

1Q業績は、全体として想定範囲でのスタートとなりました。市場は米国関税問題を織り込んで落ち着きを取り戻しており、今後各事業領域において業績回復が見込まれます。

重点領域であるHealth Careでは、成長戦略に沿ったMedicalの新製品投入と販売地域の拡大（アジア・米国など）が業績を牽引します。PharmaはCDMO市場での新規案件増が見込まれ、3Qから低分子・バイオ医薬品ともに販売が本格的に回復する見通しです。

QOL領域では、Fiberは頭髮製品の堅調な販売が継続する見込み。E&Iは、高付加価値グレード（高周波PI・光学用アクリル樹脂改良品など）の拡販を見込んでいます。

Material領域では、Vinylsはアジア市況の調整局面が続きます。MODは欧米の住宅・建築市場の回復が見込まれ、グローバル全体として確実に販売増を実現します。高付加価値品（非塩ビ・MX）の拡販とスプレッド向上により構造改革を進めます。MSは米国住宅・建築市場が回復する見通しです。欧州顧客の対米輸出の復調を見込んでいます。アジアを含め各拠点で着実に販売を伸ばします。

Nutrition領域では、Foodsの価格改定が進むとともに、高付加価値品へのシフトとBtoC製品の販売が拡大します。Supplementは、新製品（タブレット型還元型Q10）の投入や販売チャネルの拡充により更なる拡販が実現します。

上記の取り組みを通じ、3Qには全社営業利益を110億円/Q超の水準に回復させる計画です。同時に先端事業の収益構成比を高め、全社のポートフォリオ変革を進めていきます。

（注）先端事業：MS・E&I・PV・Medical・Pharma・Supplement

以上より、現時点において2025年5月14日公表の連結業績予想は変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,639	44,349
受取手形、売掛金及び契約資産	176,793	171,020
商品及び製品	104,201	106,234
仕掛品	16,814	17,439
原材料及び貯蔵品	74,481	75,715
その他	28,420	30,674
貸倒引当金	△1,824	△1,874
流動資産合計	444,524	443,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	107,322	107,361
機械装置及び運搬具（純額）	127,404	126,847
その他（純額）	105,708	107,304
有形固定資産合計	340,435	341,512
無形固定資産		
のれん	2,671	2,385
その他	30,488	30,805
無形固定資産合計	33,159	33,191
投資その他の資産		
投資有価証券	61,184	59,736
退職給付に係る資産	21,205	21,365
その他	19,978	21,199
貸倒引当金	△343	△345
投資その他の資産合計	102,023	101,956
固定資産合計	475,618	476,660
資産合計	920,143	920,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,144	89,033
短期借入金	132,511	140,486
未払法人税等	7,013	3,510
引当金	2,235	1,842
その他	61,029	61,931
流動負債合計	294,933	296,804
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	57,972	56,827
引当金	905	805
退職給付に係る負債	22,032	21,828
その他	36,880	37,445
固定負債合計	132,790	131,906
負債合計	427,724	428,711
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	29,871	29,906
利益剰余金	349,925	349,781
自己株式	△11,725	△12,683
株主資本合計	401,118	400,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,463	27,073
為替換算調整勘定	24,847	25,172
退職給付に係る調整累計額	17,848	17,678
その他の包括利益累計額合計	70,159	69,925
新株予約権	658	656
非支配株主持分	20,482	20,876
純資産合計	492,419	491,509
負債純資産合計	920,143	920,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	198,382	198,682
売上原価	142,946	144,469
売上総利益	55,436	54,213
販売費及び一般管理費	45,159	46,052
営業利益	10,276	8,161
営業外収益		
受取配当金	819	832
為替差益	1,401	-
持分法による投資利益	37	13
その他	616	417
営業外収益合計	2,874	1,263
営業外費用		
支払利息	1,016	1,013
固定資産除却損	540	723
為替差損	-	1,136
その他	1,447	513
営業外費用合計	3,005	3,386
経常利益	10,146	6,038
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,075
特別利益合計	-	1,075
特別損失		
訴訟関連費用	-	261
特別損失合計	-	261
税金等調整前四半期純利益	10,146	6,852
法人税、住民税及び事業税	2,931	2,550
法人税等調整額	△197	△294
法人税等合計	2,733	2,255
四半期純利益	7,413	4,596
非支配株主に帰属する四半期純利益	379	335
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,033	4,261

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	7,413	4,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,228	△396
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	7,166	536
退職給付に係る調整額	△130	△170
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	8,265	△29
四半期包括利益	15,678	4,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,855	4,027
非支配株主に係る四半期包括利益	823	540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	86,042	45,058	18,372	48,674	198,148	234	198,382	—	198,382
セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	20	12	11	103	309	413	△413	—
計	86,101	45,079	18,384	48,686	198,251	544	198,796	△413	198,382
セグメント利益	8,382	4,256	2,992	3,903	19,535	111	19,646	△9,369	10,276

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	19,535
「その他」の区分の利益	111
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△9,399
その他の調整額	29
四半期連結損益計算書の営業利益	10,276

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	82,374	48,466	18,273	49,310	198,425	257	198,682	—	198,682
セグメント間の 内部売上高又は振替高	66	18	19	17	122	367	489	△489	—
計	82,440	48,484	18,292	49,328	198,547	625	199,172	△489	198,682
セグメント利益	6,265	5,208	3,131	2,680	17,287	128	17,415	△9,254	8,161

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	17,287
「その他」の区分の利益	128
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△9,260
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	8,161

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	10,559百万円	11,532百万円
のれんの償却額	184百万円	202百万円